

令和2年度小田原市市民活動応援補助金交付事業に係る実施状況等について（令和2年6月時点）

<スタートアップコース>(上限10万円)

No	事業名	団体名	概要(企画提案書中「事業の概要」より転載)	当初予定事業内容	実施状況	今後の予定	疑問・要望等	計画変更の可否等(案)
1	小田原子育て情報サイトのママ編集部立ち上げ事業	小田原子育て支援ポータルサイト「びんたっこ」運営協議会	・現在子育て中のお母さんにびんたっこ情報サイトでの取材及び更新の作成を依頼し、子育ての悩みを解決するための【学び】に特化した、よりママに近い視点の情報を掲載する。 ※これまで発信してきたイベント等の情報はSNS等で入手可能であることから見直しを図り、【学び】をコンセプトに子育て情報を発信することにした。 ・現サイトの内容を刷新して子育てに関わる【学び】の情報に特化した内容に見直す。 ・母親や父親を対象にして学びの機会として講演会（講師を招待）や講座を年に2回開催する。	・7～10月に1回、「傾聴ボランティアの心構え」講演会をUMECOまたはけやきで実施。	・ママ記者の募集、決定（5月下旬） ・ママ編集部のリモート会議開始（6月上旬～）	・変更なし	・特になし	・特に対応なし。
2	つながる「傾聴ボランティア」の輪事業	傾聴ボランティア「ミミの会」	傾聴ボランティアの専門家を講師に招聘し、会員の技術の向上は勿論、一般市民の方にも「傾聴する」という事を知ってもらい、より多くの方々に「傾聴ボランティア」に関心を持ってもらう。	・7～10月に1回、「傾聴ボランティアの心構え」講演会をUMECOまたはけやきで実施。	・感染症対策を講じるため、定員に余裕のある市民会館ホールを予約。	・変更なし	・特になし	・会場費の増加に伴う予算配分の変更のみのため、計画変更の手続きは不要とする。
3	バリアフリーおだわらフォーラム事業	バリアフリーネットワークおだわら	「バリアフリーのまち小田原」を推進することを目的に、市民、学校、企業等のあらゆる分野の人々に呼びかけ、市民フォーラムを開催する。これを契機にネットワーク拡大を図る。	・8月にバリアフリーフォーラムをUMECOまたはマロニエで実施。	・フォーラムの実施を10月に延期。 ・市への講演依頼や会場（マロニエ）予約等、事前準備を実施。	・フォーラムを10月4日（日）に実施。 ・宣伝用パンフレットを8月に作成。	・新型コロナウイルス感染拡大を予防する必要があり、今後適切な定員の検討等を行う。 ・今後の情勢を注視しつつ、行政による指導にも従いたい。	・定員減等による事業規模の縮小が見込まれるが、やむを得ないものであることから、計画変更の手続きは不要とする。
4	小田原の風土と里山を活かした食育菜園教室事業	特定非営利活動法人子どもと生活文化協会	小田原の里山を活用し、自然の中で生活する技術や知恵を学びながら、野菜を育て収穫し味わう『親子体験型食育菜園教室』。	・4～3月に毎月1回、ワークショップや合宿を実施。	・感染症対策を講じた上で、3密に注意し、可能な範囲で実施。	・引き続き、可能な範囲で実施。	・特になし	・各ワークショップ等の内容に変更が見込まれるが、やむを得ないものであることから、計画変更の手続きは不要とする。
5	わかがえるフェスタ	わかがえるフェスタ	民生委員、医療介護、保育、美容従事者達で地域の皆様に必要、為になる情報を発信し尚且つ皆さんにレクチャー。高齢者～子どもまで、全ての方に必要な情報を直接皆さんに発信し、顔の見える関係性も構築し、地域の活性化に貢献する事業。必要な相談支援に繋げる事業でもあります。	・4、7、10月に、いそぎやマロニエ等でわかがえるフェスタを実施。	・会合を含め実施内容なし。	・今後、感染症対策を講じた上で会合を開き方針を検討。 ・情報提供も趣旨としており、フェスタは中止し、情報誌発行に切り替えることも視野に入れて検討。	・地域行事も全面中止の中、開催の基準がつかめず計画に至らない。 ・無理な開催は地域の批判を受ける可能性がある。 ・民生委員による高齢者等の訪問が自粛されており、必要な情報が行き届いていないことから、団体のパンフレット作成等のノウハウを生かして、早急に情報誌を発行したい。	・フェスタの中止については、想定される参加者等からやむを得ないものであり、辞退する場合はこれを認める。 ・情報誌の発行については、情報発信という事業の趣旨には合致しているものの、当初の予定とはその形態が著しく異なっていることから、計画変更申請書を事務局で確認の上、正副委員長と相談しながら可否を判断する。

<ステップアップコース プランA>(事業費の70% 上限20万円)

No	事業名	団体名	概要(企画提案書中「事業の概要」より転載)	当初予定事業内容	実施状況	今後の予定	疑問・要望等	計画変更の可否等(案)
1	子育て中のママによる子育て情報誌発行事業	NPO法人mama's hug	子育て中のママがチームを作り（コミュニティ）取材や子育て中に必要な悩みやお得な情報を載せるコミュニケーション冊子の発行	・4月から編集チームを募集。 ・7、9、11、2月に情報冊子を発行。	・感染症の影響で各支援センターに配布できないため、Web掲載やメルマガ配信を実施。	・変更なし	・特になし	・特に対応なし。
2	第12回鉄道資料展開催	小田原鉄道歴史研究会	市民及び観光客に『鉄道のまち小田原』をPRし、興味・関心を持ってもらいます。 1. 定期的開催の鉄道資料展にて資料等を展示し告知します。 2. 新幹線0系オオイ（通称「団子鼻」）を活用します。 3. 鉄道模型運転会、朗読会を実施し、鉄道の歴史を解説します。 令和2年10月の小田原駅開業100周年に向けて、これまでの活動を継続してまいります。	・4月に朗読会&バザー会を実施。 ・5月に下曽我駅開業98周年展示。 ・7月に模型運転会実施。 ・8月に新幹線“団子鼻”展示。 ・10月に鉄道資料展を開催、鉄道史発刊。 ・2月に鉄道小説朗読会&映画鑑賞会実施。	・4月の朗読会&バザー大会、5月の下曽我駅開業98周年展示、8月の新幹線“団子鼻”の展示を中止。	・10月の鉄道資料展は、感染症対策として2日間に分けるなど検討。 ・11月以降、鉄道史説明会を実施（市内3か所程度）。	・スケジュールが立案しづらい。 ・協力を要請していた鉄道会社が厳しい状況にある。 ・実施できたとしても、会場の定員減や三密対策が必要である。	・説明会は鉄道史発行に付随するものであり、事業の目的内と考えられることから、計画変更申請書を事務局で確認の上、変更を認める。
3	書道指導者育成による書道の普及事業・社会貢献事業	書道指導者育成協会	書道指導者育成協会が育成した書道指導者が、小中学生向け書道教室、小中学校でのスクールボランティア活動及び教員への指導や、各種イベントに参加することにより、書道の普及を図るとともに人と人とのつながりを大切にしながら、社会に貢献できる活動を行います。	・8月に各種書道教室を実施 ・11月にUMECO祭りで啓発 ・12月に書初め教室を実施 ・1月に書道スクールボランティア活動 ・2月に講演会・ワークショップ実施	・特になし	・8月の書道教室は実施（参加人数減及び感染症対策用の物品購入が必要）。 ・小田原市等のイベントの延期や中止が見込まれており、啓発機会が減少する恐れがある。 ・小学校での指導が減る可能性がある。	・特になし	・一部イベントの中止等による啓発機会の減少についてはやむを得ないものであり、計画変更の手続きは不要とする。
4	根府川城址を保全する活動及び白糸川滝群の整備事業	ねぶ川、里山を守る会	根府川の自然・歴史・文化を維持継承し、市内外問わず多くの方が地区内を周遊し楽しめる環境をつくり、市民の健康増進及び観光の振興を図るために、以下の4事業を継続的に行う。 ①根府川城址を保全する活動 ②関東大震災時に山体崩壊を起こした大洞（木づら）付近の経路の整備 ③根府川の桜群生地を維持する活動 ④白糸川上流の溪流・滝群への経路の維持・整備	・随時の企画会議、現地作業 ・4、10、2月に①根府川城址保全活動及び講演会を実施。 ・5、8、3月に④白糸川上流の溪流・滝群見学会を実施。 ・11月に②大洞見学会及び講演会を実施。	・4月にテーブル設置等の整備作業を実施。 ・「震災石」お披露目会を実施。 ・随時の役員会議、地元調整を実施。	・役員主体でできる⑤根府川開所跡石碑建立事業を前倒しで進める。 （事業費は精査中だが、補助金20万円のうち、10万円程度を⑤に充当したい。多くの方から寄附金をいただいでおり、優先順位も高いと考えられる。） ・①③④については、スケジュール変更の上、今年度中に実施する。	・コロナウイルス感染防止対策として、具体的なガイドライン等を屋内で行う勉強会及び野外で行うイベントの別を示してほしい。 ・参加者の周知はいつから行えるのか、またその具体的な方法について相談したい。	・⑤に関連しては、当初事業費への計上はなかったものの、計画上では「根府川の開所跡等の歴史的な文化財を有機的に結び付け」等の記載があり、目的の範囲内のものである。 ・コロナウイルス感染症の影響も考慮し、計画変更申請書を事務局で確認の上、変更を認める。
5	小田原の地の利を生かした子育て支援事業	タンポポキッズ	思考力を育てるパズルや知育教育、農体験など土に触れる体験や職業体験、調理実習など様々な実体験を企画。子どもの健全育成、考える力を育て自立した子どもへの成長の手助け、そして親子の孤立を防ぎ、ツナガリを作るという目的を持つ。	・5月に色育講座を実施。 ・7月に親子クッキングを実施。 ・8月に夏祭りを実施。 ・11月に体幹・体操トレーニングを実施。 ・1月に絵本講座を実施。 ・3月にスクラップブックングを実施。 ・年間を通じ田植えから収穫まで実施。	・感染症対策を講じ、若干の内容変更を行い、原則屋外で事業を実施。	・詳細は今後検討するが、原則として屋外を会場とするとともに、内容も感染症対策の観点から見直しを行う。	・特になし	・感染症対策を講じる上でやむを得ない、会場や内容の変更であれば、計画変更の手続きは不要とする。
6	心地よい森づくりと間伐材の活用事業	(おだわら) 森のなかま	年間を通して、森の手入れを行い、間伐した木材の利活用を考え、ベンチなどを作成していく。作成したベンチを街中に設置し、市民が心地よくすわることができるようにするなど、事業を役立てていく。ベンチを設置することを通して、間伐材のよさに気づいてもらえるようにする。	・年間を通じ、第2日曜日に間伐及び製材を実施。 ・年間を通じ、第4日曜日にベンチづくりを実施。 ・5月に製材技術講習会を実施。 ・随時でイベントに出展し、事業をPR。	・4月に久野地区にベンチ設置等を実施。 ・5月に久野地区等でゴミ拾い等を実施。	・ベンチ作りに多くの方の参加を得たいと思っていたが、今後の状況次第である。野外での林業作業や距離をとってのベンチづくりにならざるを得ない。	・イベントの規模縮小や実施回数の減少が見込まれるが、やむを得ないものであることから、計画変更の手続きは不要とする。	
7	家の外にも居場所を！	アベゼ	アベゼ・サロンを開催し楽しく過ごす機会を提供します。引き籠りにならないよう家の中に出て頂く目的です。いつまでも自分らしく元気に過ごすお手伝いです。また深い悲しみからの立ち直りの支援もします。	・5、6、9、11、12月にアベゼサロンを実施。 ・7、10、2月日アベゼサロンとアベゼカレッジを同時に実施。	・実施していない。	・事業の対象者は免疫力が高くなく、現状で実施することは非常に危険であることから、今年度の開催は見送る。	・辞退することが可能であれば、速やかに返金を行う。	・想定される参加者等から、イベントの中止はやむを得ないものであり、辞退を認める。
8	ニホンジカ調査とアオキによる誘引捕獲試験	特定非営利活動法人小田原山盛の会	箱根山地では近年ニホンジカ生息密度の急上昇がおこり、山地の下層植生劣化、農林業被害を引き起こしている。シカ専門家の古林賢恒氏に調査にご指導いただき、シカによる林業被害・植生劣化・採食植物を調査し、対策強化に向けた情報収集を行う。また嗜好性の高いアオキによる誘引試験を実際のくくり罠捕獲で行い、効率的な捕獲手法を検討する。紅斑熱を媒介するマダニの分布調査を行う。おだわらイノシカネットと共催で被害地&捕獲地見学会を実施する。調査報告及びくくり罠普及のための冊子を作成する。	・4月にセンサーカメラを購入し、誘引物とともに設置。 ・年間を通じ、週1回程度、カメラ設置地で状況確認等を実施。 ・年間を通じ、月1回程度、生活痕跡等の調査を実施。 ・年間を通じ、月1回程度ダニの採取を実施。 ・1月に調査報告冊子を作成。 ・2月に林業被害地・捕獲地見学会を実施。	・5、6月にセンサーカメラを設置し、以降状況を確認。 ・5、6月に3回、ダニの採取を実施。 ・6月に林業被害状況の調査を実施。	・予定どおりに実施。	・ダニの検査機関がコロナウイルスのPCR検査のため多忙となっている。 ・コロナウイルス感染症対策のため、シカ調査指導者の送迎等を検討中。	・特に対応なし。

※計画変更の手続きを不要としたものについても、こまめに実施状況を確認し、その都度必要な対応を検討する。